

## 2 キャリアの方向性について考える

3 ページの3つの質問を基に、自分のキャリアの方向性について考えてみましょう。

### (1) 自分は教職員として何が得意か

次の資質・能力を自信の大きさ（横軸）と活用の大きさ（縦軸）を基に右の表に番号を記入してみましょう。そして、自分の強みと弱みを分析してみましょう。教職員評価制度の職務行動評価で分析することもできます。

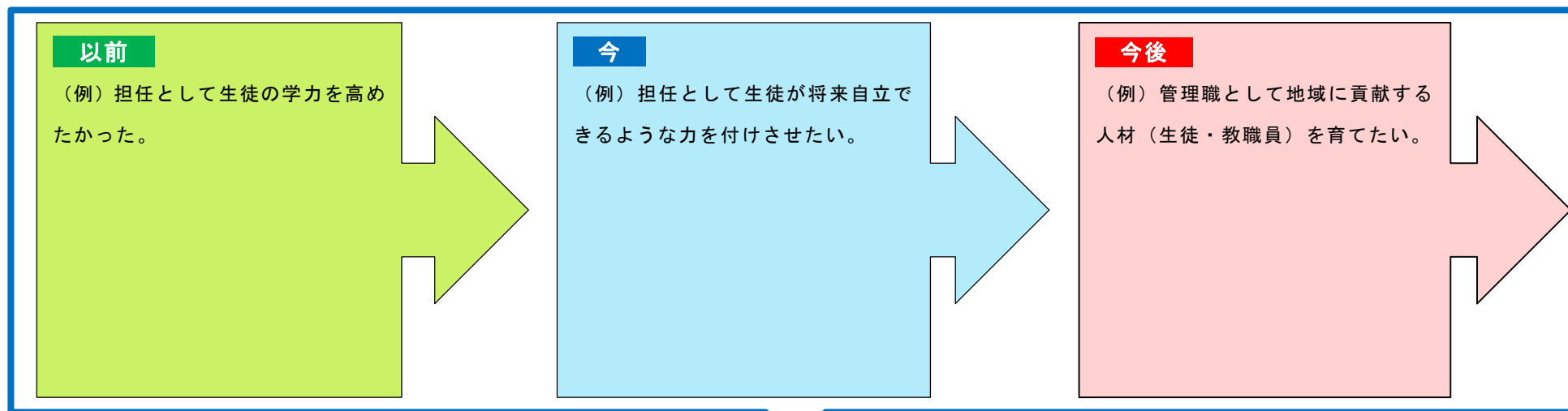
**【資質・能力】**

- 共通
  - ① 人材育成力
  - ② 外部折衝力
- 教諭・指導教諭・主幹教諭・養護教諭・栄養教諭
  - ③ 児童生徒とのコミュニケーション力
  - ④ 児童生徒理解力
  - ⑤ 組織貢献力
  - ⑥ 校務分掌等における創造的企画力(企画立案力)
- 教諭・指導教諭・主幹教諭
  - ⑦ 授業企画力
  - ⑧ 授業実践力
  - ⑨ 授業評価・改善力
  - ⑩ 児童生徒指導力
- 養護教諭
  - ⑪ 保健室経営力
  - ⑫ 健康診断・健康相談推進力
  - ⑬ 学校環境衛生管理力
  - ⑭ 保健指導力
  - ⑮ 健康相談
- 栄養教諭
  - ⑯ 給食管理力
  - ⑰ 栄養管理力
  - ⑱ 衛生管理力
  - ⑲ 物資管理力
  - ⑳ 食に関する指導力
- 管理職
  - ㉑ 管理職における創造的企画力
  - ㉒ リーダーシップ
  - ㉓ 管理運営力

※ 上記の資質・能力以外でも構いません。

## (2) 自分は教職員として何をやりたいのか

自分が教職員としてやりたい（やりたかった）ことを、以前、今、今後で分けて記入してみましょう。以前については、採用1年目の時、5年目の時など、経験年数に応じて細かく分けても構いません。記入後、変わらないことや変わってきたことを分析してみましょう。



### 変わらないこと

(例) やりたいこととして、子どもに力を付けさせることは変わらない。

### 変わってきたこと

(例) 生徒に必要な力を広くとらえられるようになった。子どもを立派に育てるだけでなく、教職員にも目を向けるようになった。

(3) 教職員としてどのようなことをやっている自分なら、やりがいや役に立っていることを実感できるのか  
 これまでを振り返り、やりがいや役に立っていると実感したことを下の表に記入してみましょう。

やりがいや役に立っていると実感したこと	
授業等	(例) 授業で子どもたちから活発に意見が出され、授業後の子どもたちの満足度がとても高かったこと
校務分掌等	(例) 体育主任として運動会が成功し、子どもたちはもちろん職員や保護者も喜んでくれたこと
その他	(例) 家庭訪問や教育相談を行い、子どもが前向きになってくれたこと